

果樹病虫害発生予察調査結果（9／25調査分）
（三条、加茂、田上地域）

9月25日に実施した予察調査結果についてお知らせいたします。

（共通）

- ナシヒメシクイの誘殺数は9月3半旬がピークでした。なお、近年同時期と比較して誘殺数の多い状態が続いています。ナシ果実への食入が懸念される場合は臨時防除を検討しましょう。
- 今回調査でハダニ類やカイガラムシ類は確認されませんでした。越冬場所を減らすため、**粗皮削り**を実施しましょう。また、主幹や主枝基部に古布や古新聞を巻き付けて12～1月に外す**バンド誘殺**も効果的です。

（ナシ）

調査地点ごとに5新梢を調査しました。

- 気温低下や降雨により、**黒星病**り病葉がやや増加しています。り病葉や芽基部病斑が翌年の感染源となるため、収穫後の防除や落葉収集を実施しましょう。
- **セイヨウナシ褐色斑点病**の発病葉は増加が続いています。また、前年に**ごま色斑点病**が発生した園地では今後の発生に注意が必要です。薬剤防除やり病部位の除去を行うとともに、落葉収集をしやすくするための下草管理も実施しましょう。
- 一部で**花腐細菌病**り病枝が確認されています。1年枝や短果枝で**黒変**や**かさぶた状**の病斑がある場合、剪定時に除去しましょう。

（ブドウ）

調査地点ごとに100葉を調査しました。

- 一部で**輪紋病・褐斑病**り病葉が確認されています。収穫後防除を実施し、早期落葉を防止しましょう。

(モ モ)

次年度のせん孔細菌病春型枝病斑が増加しないよう、秋季防除を実施しましょう。

◇ 次回調査は10月10日(火)を予定しています。

※ 次回が本年度最後の調査です。

担当 : 中越支所 果樹共済係
TEL : 0258-36-8105
FAX : 0258-34-8020